

障害者支援施設ホタルの郷事業報告

1. 事業概要

利用者さんの人権確保を基本に、豊かな生き甲斐のある生活の中で、社会適応のための心身機能の発揚と地域移行の為の人格形成を目的に、設備の充実と支援・援助の向上を図りました。

2. 目標に対する実績

(1) 利用者さんにとって、できるだけ快適な住環境の実現を目指す。

ホタルの郷開所から20年以上が経過し、その都度必要な生活環境の整備をしてきたが、不十分な個所が見受けられるため引き続き整備を行う。また、シーツ交換やタンス整理等の生活環境の整備を行う。

→新型コロナウイルス感染予防対策に伴い、居室棟内の改修はあまりできませんでした。シーツ交換やタンス整理については定期的に行ってきました。

(2) 利用者さんの生活の質の向上に努める。

個別支援を充実させるため少人数での個別外出を実施する。3寮・5寮間のテラス、喫茶コーナーの開放をすることで、日課の充実を図る。機械浴室を活用する。

→個別外出については、ドライブ、施設内でのレクリエーション等、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底したうえで行いました。利用者さんの意見を聴き、ニーズにある程度沿った外出やレクリエーションを月に2回程度実施することができ、利用者さんの情緒の安定にもつながりました。3寮・5寮間のテラスを活用することで日中活動の充実、おやつの時間に喫茶コーナーの開放をし、利用者さんの意思で好きなパンを選択し食べることができるようにすることで、自己選択・自己決定の場に繋げたり、余暇活動が充実するよう努めました。機械浴室を使用し、重度、高齢の利用者さんの安全で快適な入浴の提供に努めました。

(3) 利用者さんの安全確保と安心できる生活の場の提供に努める。

職員は、新型コロナウイルス感染予防対策に伴い、研修会等に参加する機会が少ないため、リモートによる研修等に参加して障害についての専門知識を習得すると共に、職員の経営者意識を高めモチベーションをアップすることにより、利用者さんが安心できる生活の場の提供に繋げる。

→研修等については、リモートによる研修に参加しました。日常生活においては、職員は出退勤時の検温、マスクの着用、消毒液の携帯と手指消毒の徹底をしました。日中活動、食事、余暇時間等、今までの男女混合の生活から、できるだけ密を避け、安全で安心できる生活の場の提供をする等、感染予防に努めました。